

# 国際開発・国際協カプログラム（タイ研修）

プログラム区分	海外実習
主幹部署	現代国際学部
研修先国・地域名	タイ・バンコク
プログラム概要	アジア工科大学院
プログラム概要	<p>本研修は、参加者がより広い視野で途上国問題を理解すると同時に、途上国問題と日本の問題の類似性から地域と世界のつながりに気づき、多民族、多宗教、多文化が共存できる社会の実現について考えるきっかけとなることをめざします。活動内容は、以下の通りです。</p> <p>1) 1 週目：東南アジアのジェンダー問題に取り組む：受け入れ先であるアジア工科大学院において東南アジアのジェンダー問題についての講義を受けた後に、国際機関や国際・地元 NGO/NPO を訪問し、現場での活動を通して、ジェンダー問題をより深く理解します。また、受け入れ先である。アジア工科大学院において、開発学を専攻する大学院生の授業に参加したり、彼らとディナー・クルーズなどでかけるなどして交流を深めます。</p> <p>2) 2 週目：タイ中部の村にホーム・ステイしながら、自身の決めたテーマに沿った聞き取りを行います。ホーム・ステイすることで、タイ文化に親しむ機会ともなります。もちろん、週末には、バンコク・地方両方で観光を楽しむ機会も設けています。</p>
日程	出発予定時期：2024年8月下旬 期間：2週間
単位認定	地域研究・国際研修プログラム B（2単位）
他学科生の受入れ	不可 受入れ可の他学科：-
語学研修の有無	無
単位認定	地域研究・国際研修プログラム B（2単位）
問い合わせ先	現代国際学部
その他	<p>前半の週に使用する言語は英語ですが、後半は地方滞在となるため、主要言語はタイ語となります。しかし、アジア工科大学院の大学院生が通訳兼世話人として研修中常に付き添いますので、タイ語を知らなくても問題は生じません。タイ語を副言語としている学生にはタイ語を使う実践の場となります。研修の参加者は、事前研修に参加し、研修後にはレポートを提出する必要があります。提出されたレポートすべては冊子としてまとめられ、参加学生にお渡しします。</p>